

〔直売所紹介〕

ミツバチと自然の中で花蜜を追い求める 養蜂家の蜂蜜直売店「鈴木養蜂場」

美作県民局畜産第1班

今回は、津山市で蜂蜜を直売している鈴木養蜂場さんです。

○店名：「鈴木養蜂場」

<http://www.hyouryuu.co.jp/shop/hachi/hachi0.html>

開店したのは約60年前、養蜂業を始めたのと同時に、鈴木康正さんのお父様で岡山県養蜂組合連合会の鈴木茂男前会長が「本物の蜂蜜を味わってもらいたい。」と始めました。



○場所：津山市川崎72 (0868-26-1423)

津山市街地から国道53号線を東に向かい JR 姫新線東津山駅前以北に折れ、旧道沿いをさらに東に向かった所にこのお店があります。(駅から約400m)。

○営業時間：

概ね9時～18時。定休日は不定休。

常連客の方からは「いつ来てもおらん。」と時に言われますが、というのもこの店はあくまで副業。「本業は、自然の中で蜜を採ること。」と鈴木さんは目を輝かせます。そんな訳でお店には午後に訪ねられた方が良さそうです。

○お店の様子：

約6畳ほどのスペースですが、透明で黄金色の蜂蜜が瓶詰めされ、所狭しと美しく並んでいます。

蜂蜜には、とち、アカシア、そよごなど様々な植物の蜜がありますが、何と云っても一番のお勧めは「れんげ蜜」です。

津山盆地は、春の昼夜の温度差が激し



いため、れんげ一花毎の花蜜量が多く、これが良い蜜の採れるバロメーターなのだそうです。こうして、地元津山のれんげ畑からは、日本人好みの、くせがない、やさしく、香り豊かな最高級のれんげ蜜が採れるのです。また、自慢の蜂蜜を詰めた瓶に貼っているラベルやチラシは、大量生産にはない自然相手の手作りの蜂蜜の味を出したいと、これも鈴木さんご自身の手作りによるものだそうです。

養蜂業の苦労は、「何と云っても自然相手である。」と鈴木さんは話されます。春の長雨の時期に雨が続くと、花が蜜を吹かず一滴も蜜が取れないこともあるそうです。まさに自然とともに歩みます。



更に、鈴木さんは、「地域農業を維持していくためには、稲 WCS による稲作と畜産の連携に加え、養蜂を組み入れた三者の連携が必要だと熱く語られます。

こうした熱い思いで、ミツバチと自然の中で花蜜を追い求める養蜂家の本物の蜂蜜を是非一度ご賞味ください。